

家畜衛生広報



ながの

令和7年(2025年)5月9日

長野家畜保健衛生所
北信家畜産物衛生指導協会
〒380-0944 長野市安茂里米村1993
Tel 026-226-0923 Fax 026-227-2665

今年も早めの暑熱対策を！

気象庁から「高温に関する早期天候情報」が発表され、5月13日頃から例年よりも気温がかなり高くなると予想されています。

豚は、汗腺の発達が悪く、体が厚い体脂肪に覆われており体表面からの熱の放散効率が悪いいため、暑さに弱い動物です。急な暑さによる被害が最小限となるよう、ポイントを押さえた対策を実施しましょう。

暑熱による悪影響

- 豚体内の熱の蓄積
 - ・多湿だと熱を放散できず、熱中症の危険
- 食欲不振
 - ・肥育豚の体力低下、免疫力低下
 - ・母豚の繁殖成績低下
- 生殖器官へのダメージ
 - ・ストレス状態が続くと生殖機能が低下
 - ・暑熱ストレスによる生殖細胞へのダメージ

豚の快適温度を再確認！

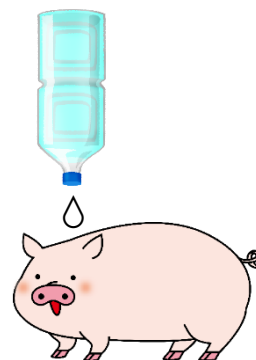
体重(kg)	快適温度帯(℃)
～5	30～35
6～8	28～33
10	25～28
20	22～28
25	24～30
45	20～26
65	19～25
85	18～25
105	17～25

出典：新・豚病対策（有限会社ベネット）

暑熱対策のポイント

- 畜舎内の風の通りをよくする。
 - ・畜舎内・送風機の清掃で通気を改善
 - ・湿度の低い風が豚体に届くような工夫を
- 飲用水の工夫
 - ・給水器の清掃、定期点検でトラブル予防
 - ・新鮮で冷たい水の給与
- 食欲低下への対策
 - ・エネルギー、ビタミン、ミネラルの補給
 - ※高温多湿時は飼料がカビ・変質しやすいので注意

特に授乳中の母豚は摂取量が多いので注意！



- 繁殖豚に対しては、ドリップクーリングも有効
 - ・ペットボトルの水を凍らせて吊り下げることによって特別な設備がなくても実施可能です

消毒は伝染病予防の第一歩 まずは踏み込み消毒槽を畜舎に置きましょう